

# 学校経営方針

## 1 学校経営の方針

### (1) 教育目標

社会生活に適応し、社会の一員として能力・特性に応じた自立ができるよう、心身共に調和のとれた人間を育成する。

- ① 基本的な生活習慣を確立し、まわりの人々と協調できる生活態度を育成する。
- ② 一人一人の個性を伸ばし、社会生活に適応できる能力・態度を育成する。
- ③ 社会生活に必要な基礎的・基本的な態度、技能、知識の定着を図る。
- ④ 障がいの状態を改善し、自分のことは自分で行う能力・態度を育成する。

### (2) 学校経営の方針

- ① 実践力 『自立と社会参加に向けた確かな力を育成』
  - ・一人一人の障がいの状態を改善し、社会的に自立できる能力や態度、職業的技能の育成と職場開拓に努める。
  - ・一人一人の能力や特性を把握して、個別の指導計画を作成し、全職員の共通理解のもとに継続的な個別指導に努める。
  - ・特別支援教育における指導力・実践力向上のために、障がいについての理解とその指導法について、計画的・継続的な研修に努める。
- ② 地域協働 『地域で生活していく基盤を構築』
  - ・コミュニティスクール（学校運営協議会）を推進し、地域の小中高大学、地元自治会、関係機関、地元企業等と協働する。
- ③ 安心安全 『感染症、災害等から命を守り抜く教育を推進』
  - ・危機管理体制の構築と生徒の安全管理の充実に努める。  
学校内外における災害・事故、感染症等に対する危機管理の確立を図り、生徒一人一人の安全に努める。

## 2 教育の重点

一人一人の能力や個性を最大限伸ばし、社会生活や職業生活で実践できる力を育てる教育を推進する。

### (1) 個に応じた実践力の育成

- ・生徒の生活に根ざした教材の精選と指導計画の作成
- ・個々の能力に合わせたねらい、課題設定、見通しがもてる授業展開
- ・主体的な学習にするための発問の方法
- ・学習評価の適切化
- ・ティームティーチング等指導形態の工夫
- ・学習意欲を高める指導法の工夫
- ・体験的、作業的学習活動の重視
- ・実態に応じた適切な支援の工夫
- ・キャリア教育の視点に立ち将来を見通した移行支援計画の作成
- ・障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するための自立活動の充実
- ・関係機関・関係中学校・主治医等との連携による生徒理解
- ・基本的な生活習慣育成のための指導の徹底
- ・意思伝達能力・表現力を高める指導の充実

- ・体力・精神力を高める指導の充実
- ・豊かな生活をするための余暇指導の充実
- ・個別の教育支援計画を活用するP D C Aの充実
- ・個別相談の充実と家庭との共通理解に立った専門的な指導

**(2) コミュニティースクールを踏まえた指導の充実**

- ・市内の学校・福祉施設等とのI C T等を活用した交流活動
- ・学校行事を通じた地域住民との交流活動の工夫
- ・地域の教育資源等の活用
- ・地域における啓発活動の推進
- ・地域の行事や奉仕活動への積極的参加の工夫
- ・企業等への障がい者理解を図るための企業開拓の実施

**(3) 自立と社会参加に向けてコロナ禍を力強く生き抜く教育の推進**

- ・I C Tを活用した授業の推進
- ・命を守る教育の充実
- ・性教育、消費者教育、主権者教育、キャリア教育等の充実